

申込方法

下記いずれかの方法でお申し込みください。大会では、音声認識アプリ「UD トーク」を使用したリアルタイムによる字幕が提供されます。それ以外に車いすでの来場や情報保障など、参加に際しお手伝いが必要な方はお申し込み時に備考欄もしくはメール・FAX 本文にご記入ください。

1 Peatixから申し込む

クレジットカードやコンビニ決済で参加費を支払うことができます。

<https://amckiyudai2024.peatix.com/>



2 WEBフォームから申し込む

下記URL にアクセスし、必要事項をご記入のうえ、参加費をご入金ください。

<https://forms.gle/TrHA5LHVvyC8ozbw5>



3 メールまたはFAX から申し込む

お名前、ご所属、ご連絡先、会員種別（一般会員／学生会員／一般未会員／学生未会員）をご記入のうえ、参加費をご入金ください。

E-mail art-care@popo.or.jp

Fax 0742-49-5501

②WEBフォーム、③メールやFAXからお申込みいただいた方は、郵便局の郵便振替もしくは銀行振込にて参加費をご入金ください。

郵便振替

【口座記号・番号】00920-4-252135

【加入者名】アートミーツケア学会

銀行振込

【銀行名】ゆうちょ銀行 ゼロキユウキュウ（〇九九）支店 当座

【口座番号】0252135 【口座名義】アートミーツケア学会

参加費

会員……1,000円 / 学生 500円

未会員…2,000円 / 学生 1,000円

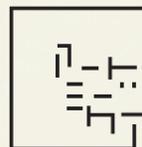
懇親会…4,000円

ご入金いただいた参加費は、原則としてご返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

申込期限

2024.12/7 [土]

お問い合わせ お申し込み先



アートミーツケア学会
事務局

〒630-8044 奈良市六条西 3-25-4
一般財団法人たんぼぼの家内

Tel…0742-43-7055

Fax…0742-49-5501

E-mail…art-care@popo.or.jp

<http://artmeetscare.org>

アートミーツケア学会 入会のご案内



アートやケアにまつわる現場や研究領域で活動する約200名が所属しています。メールマガジン配信、理事リレートーク動画配信など、会員限定のコンテンツも。関心のある方はぜひお問い合わせください。

参加申し込みフォーム（FAX 用） 必要事項をご記入の上、該当する項目にチェックをいれてください。

お名前（ふりがな）

住所（ご自宅/勤務先）〒

参加日程 12月13日 [金] 前夜祭（ オンライン） 12月14日 [土] 大会1日目 懇親会 12月15日 [日] 大会2日目

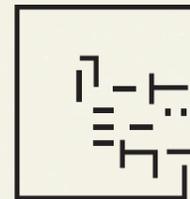
参加費 会員（一般 /1,000円） 会員（学生 /500円） 懇親会（4,000円）
 未会員（一般 /2,000円） 未会員（学生 /1,000円）

連絡先 Tel（ご自宅/勤務先）

E-mail（ご自宅/勤務先）

文字による情報保障が必要な方はチェックを入れてください。 文字による情報保障を希望する

*お預かりした個人情報は、本大会の受付および今後の学会活動に関するご案内のために使用いたします。



アートミーツケア学会 2024年度総会・大会

しケアのなかにあるアート？

大会・総会 2024.12/14 [土]・15 [日]

前夜祭 2024.12/13 [金] 前夜祭のみ
オンライン配信あり

【会場】九州大学大橋キャンパス 福岡県福岡市南区塩原 4-9-1

申込期限…12/7 [土] 定員…100名（申し込み先着順）

*UD トークにより字幕による情報保障を行います

2006年3月に設立された「アートミーツケア学会」。人間の生の回復を支えるアートやテクノロジーの役割について考え、新しい知と新しい美の地平をひらき、人の生きやすい社会、文化をつくることが目指されてきました。特にこの2年間は、オンラインでのトーク配信やセミナーの企画など、新たな企画に取り組んできました。2年ぶりに実施する大会では、改めて「アート」と「ケア」の関わり方について、その根本に立ち返りながら、あれこれとみなさんで考える場をひらきたいと思えます。

【主催】アートミーツケア学会 【共催】九州大学大学院芸術工学研究院

とケアのなかにあるアート？

12/13 [金] 前夜祭 オンライン配信あり [会場] 多次元デザイン実験棟

18:30-20:00 参加型トーク「アートミーツケアについてあれこれおしゃべりする会」

[進行] 長津 結一郎 九州大学大学院芸術工学研究院准教授 アートミーツケア学会2024年度総会・大会実行委員 ほか
2年ぶりの大会となるアートミーツケア学会。そもそもこの学会ってどんな学会だっけ？今回の大会にどんなことを期待する？など、ラジオのようにあれこれおしゃべりする会をしたいと思います。会場でも参加いただけますし、オンラインからの参加也大歓迎。参加するみなさんと一緒に、大会に向けてエンジンをかける時間を一緒にしましょう。

12/14 [土] 大会1日目/総会 現地参加のみ

[会場] 懇親会をのぞくすべてのプログラムは多次元デザイン実験棟にて行います。

12:00-13:00 大会受付

13:00-13:10 開会あいさつ

13:10-15:10 シンポジウム「ケアのなかのアート、アートのなかのケア」

[会場] 多次元デザイン実験棟ホール [進行] 中村美亜 九州大学大学院芸術工学研究院教授・副研究院長
ケアの現場に「アートを取り入れませんか？」と尋ねると、「アート?!」と怪訝な顔をされることがあります。一口に「アート」と言っても、美術や音楽などの伝統的表現から、創造的なふるまいや感性的コミュニケーションまで、さまざまな意味があるからでしょう。一方「ケア」にも、作業のお世話から静かな寄り添いまで、さまざまな意味合いがあります。今回のシンポジウムでは、福岡でケアの現場で活動されている方々をお招きし、改めて「ケアのなかのアート、アートのなかのケア」について、また非日常的なアートを日常的なケアにつなげる方法について考えます。



酒井 咲帆
株式会社アルバス代表
いぶくまち保育園
ごしよがだに保育園 園長



勢島 奏子
たろうクリニック
重度認知症ケア部門
担当医師



見野 由美子
NPO 法人ドネルモ正職員
NPO 法人福岡市
レクリエーション協会 理事長



山田 賢祐
認定NPO 法人ニコちゃんの会

15:20-16:05 緊急企画「播磨靖夫さんの歩みを振り返る」

アートミーツケア学会の創設に尽力され、長年常務理事として学会の発展に大きな功績を残された播磨さんが永眠されました。影に日向に学会を支え、実践者や研究者の学びの場を育てた播磨さんの歩みを、みなさんと振り返ります。

16:15-17:15 ポスターセッション コアタイム

ポスター発表者が会場に滞在しています。発表者から直接説明を聞いたり、交流することができます。なおポスターは大会期間中いつでもご覧いただけます。発表の詳細は学会ウェブサイトにてご案内いたします。

17:20-18:20 アートミーツケア学会総会

2024年度の中間報告のほか、学会として2回目となる選挙にむけての話も予定しています。現在の役員体制は2025年3月で終了します。会員のみなさんはぜひご参加ください。*ご欠席される会員の方は委任状を必ずご提出ください。

18:30-20:30 懇親会 [会場] デザインコモン1F

12/15 [日] 大会2日目 現地参加のみ

9:30-10:00 大会受付 [受付場所] 多次元デザイン実験棟

10:00-12:00 **プレゼンテーション[研究発表・実践報告]** 複数の発表が同時並行で進行します。
[会場] 多次元デザイン実験棟・デザインコモン 詳細は学会ウェブサイトにてご案内いたします。

12:00-13:15 昼食休憩 *お弁当の注文は行いません。

13:15-14:15 交流企画「“扉”に気づく～点と点をつなご」

[ファシリテーター] マニシア ダンスアーティスト、ダンスムーヴメントセラピスト
心とからだの全部をつかって、広いホールでのびのび、ゆったり、アクティブに、マニシアさんとともに動いてみましょう。自分と向き合い、ダンスを通じた出会いを楽しみ、新たに繋がっていく時間になりたいと思います。



14:30-16:00 分科会 [会場] 多次元デザイン実験棟・デザインコモン

▶ トークセッション「アートと障害の『研究会』を育むために」

[障害とアートの研究会] 柴川 弘子 岡山大学学術研究院教育学域・ESD 協働推進センター助教 森下 静香 Good Job! センター香芝
2022年度からたんぼの家・障害とアートの相談室にて開催してきた障害とアートの「研究会」。多種多様な問題関心を持つ参加者が実践上の課題や悩みなどをこぼしにしています。このような「研究会」は実践者が課題を乗り越える上で重要な役割を果たし、コミュニティを形成する可能性を持つ、という仮説に基づきその成果と課題を振り返り、「研究会」を育てていくことの意味と価値を考えます。

▶ ワークショップ「アート&ケアの価値を伝えるには？」

中村 美亜 九州大学大学院芸術工学研究院教授
アートとケアをつなぐ活動の価値は、現場にいる人にとっては自明でも、それ以外の人(家族、地域の人、資金提供団体、行政など)にはなかなか伝わりません。本ワークショップでは、アート活動に適したロジックモデル(手段と目的の論理的仮説を表す図)の作り方を紹介した後、参加者どうして簡易なロジックモデルを作成しながら、活動の価値を伝える方法を見つけ出していきます。シンポジウム「ケアのなかのアート、アートのなかのケア」の続編(アカウンタビリティ向上編)です。

▶ ワークショップ「ケア・アーティスト」

[Care Creation Club] 若杉 茜 東京大学大学院総合文化研究科博士課程 段 希子 フリーランス
日々溢れる小さな無数のケアは、ケアという言葉を知らないとそれと気がつかなかったり、意識して行うことが難しいこともあります。このワークショップでは、アートの手法を通じてケアするための観察眼を養います。目の前の人のニーズを掴み、「声をかける」「褒める」「そばにいる」などのケアのアクションをするための眼をゲーミフィケーションをしながら体験し、ほんの少しだけケアが身近になることを目指しています。

▶ トーク「シンポジウム参加報告 死の臨床現場での実践からアートの役割と可能性」

[びょういんあーとプロジェクト] 日野間 尋子 森 合音
2024年10月に開催された「日本死の臨床研究会年次大会」へ参加したご報告をさせていただきたいと思います。当活動からは、2008年より北海道内で実践してきた活動のご紹介と「つらさやかなしさを持つ人々のそばにあるアート」と題した参加型の公開制作を行いました。これらより得られた知見と同様の小ワークショップを皆さんと共有することで、あらためてアートの役割と可能性について捉え直したいと考えます。

16:15-17:15 クロージング・フォーラム「学会らしくない学会にむけて」

[会場] 多次元デザイン実験棟ホール 長津 結一郎 九州大学大学院芸術工学研究院准教授
ほんま なほ 大阪大学COデザインセンター教授 森 合音 NPO 法人アーツプロジェクト代表 ほか
この学会をどのように方向づけ、みんなの声と手で作っていきか? 理事・共同代表たちが話しあうなかで共鳴したのは、これまで積極的にアートやケアとして語られてこなかった活動や経験にいてねいに関わり、それをむずかしいことばや理屈におきかえるよりも、むしろ、はげましあったり、あらたな活動や実践へと橋渡したり、それ自体がケアの関わりや実践となるような「学会らしくない学会」でありたい、という声でした。このフォーラムでは、理事リレートークやオンライン・セミナー、交流企画など、あたらしく種がまかれた活動を参加者のみなさんと共有するとともに、会員、非会員のみなさんが参加できる、学会らしくない声やアイデアを聴きあう場をもうけます。

17:15-17:30 事務連絡、終了

オンライン・セミナー「境界をまたぐ〈あそび〉と創造」のご案内

アートとケアを、マイノリティの視点などの、いくつもの角度からとらえなおすことを目的にさまざまなテーマの動画を有料配信しています。学会会員はクーポンコード入力で半額で購入いただけます!

